

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月 日		記入者	連絡先	3412
部 名	建築部	課 名	住宅課	課長名	石井 敏郎
事務事業名	住宅審議会事業				
予算上の事務事業名	住宅審議会経費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	24220	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します				
基本施策名	第2節 良好な住まいづくりの推進				事業開始年度
施策名	第2施策 良質な住宅の供給				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	附属機関の設置に関する条例 相模原市住宅審議会規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)
住宅入居者の選定その他市営住宅の運営上必要な事項について、市長の諮問に応じて調査審議し、その結果を答申し、又は意見を建議すること。					住宅審議会委員 (6人)
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
1 相模原市住宅審議会の開催	4回				
2 市営住宅入居予定者の実態調査	2回				
3 新築団地内覧	1回				
4 審議会の委員構成					
公共的団体の推薦者	4名				
学識経験を有する者	1名				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	415	315	605	605	605
一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	415	315	605	605	605
人件費の合計	854	860	854	854	854
事業コスト合計	1,269	1,175	1,459	1,459	1,459
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	住宅審議会事業			対象名称 と単位	委員数当たり
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	1,269	1,175	1,459	1,459	1,459
対象数	5	5	5	6	6
単位あたり経費(円)	253,800	235,000	291,800	243,167	243,167
前年度比		0.93	1.24	0.83	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	年間答申率	指標式と指標の説明		平均答申回数＝審議会開催回数×100 市長の諮問に応じて答申することが、住宅審議会の大きな役割であるため	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	2.0	2.0	2.0		
目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	出席率	指標式と指標の説明		平均の出席者総数＝（審議会開催回数×委員数） 総員の出席によって諮問事項を審議し、答申することが重要	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	19.0	18.0	17.0		
目標	20.0	20.0	20.0	24.0	24.0
目標達成度（%）	95.0	90.0	85.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市営住宅への入居選考のほか、市営住宅管理に関する審査・答申を行う重要な機関であるので、引き続き住宅審議会を開催していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 特になし			14 課題として認識されたこと 合併に伴い委員構成を検討しなければならない。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			